

法学部

入学から現在までの意識・行動に関して、法学部では「今の学部に入って良かった」が85.3%で最も高くなっており、大半の学生がこの学部を選択したことに満足していることがわかります。他の学部と比較しても「自分の学部に誇りを持っている」が65.2%と高く、明治政府の初代司法大臣である学祖名の認知率も最も高く、学部への帰属意識が高いことがうかがえます。「日大に入って良かった」「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」が73.8%と同率2位で続いており、積極的な意識で入学した学生の比率が高くなっています。平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲が持てるようになった」(22.4ポイント増)や「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」(19.4ポイント増)などで増加率が高く、入学後の勉学意欲や本大学に対する評価の高まる傾向が顕著に見られます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)		平成9年度からの増減(ポイント)	
1	今の学部に入って良かった	85.3%	9.7
2	日大に入って良かった	73.8%	6.2
3	できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	73.8%	8.3
4	入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった	70.6%	19.4
5	基礎学力の不足を痛感する	70.6%	*
6	学祖名(山田顕義先生)を知っている	70.6%	1.6
7	校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず	67.7%	*
8	自分の学部に誇りを持っている	65.2%	2.8
9	日大のスポーツの活躍は誇りになる	63.9%	15.1
10	入学後、勉学意欲がもてるようになった	60.4%	22.4
11	入学後、人間性が豊かになった	56.9%	8.8
12	ボランティア活動を今後してみたい	56.9%	3.6
13	ぼんやりと過ごす時間が多い	56.5%	-2.0
14	自分の学部出身者は社会に有利	56.5%	4.2
15	栄養のバランスに気をつけている	55.9%	7.5
16	大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている	55.3%	*
17	入学時に卒業後の進路・就職を意識	54.0%	1.0
18	東京の大学に入学したかった	53.7%	9.1
19	日大が出るスポーツを見に行ってみたい	53.4%	*
20	良い影響を受ける教職員に出会えた	53.0%	12.6

*は平成9年度に無かった項目

文理学部

入学から現在までの意識・行動に関して、文理学部では「日大に入って良かった」「今の学部に入って良かった」が8割弱で共に高く、大半の学生が大学や学部の選択に関しては満足していることがわかります。入学直後に「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」学生は57.7%と他の学部と比べて低めで、入学後、「基礎学力の不足を痛感する」と回答した学生が75.3%と高くなっています。

平成9年度と比較すると、「入学時に卒業後の進路・就職を意識」「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」が約8ポイントずつ増加しており、目的意識と日大評価が高まっています。「日大のスポーツの活躍は誇りになる」は14学部中最高(67.0%)であり、8.4ポイント増加していることから、文理学部では特にスポーツへの関心が高まっているようです。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	日大に入って良かった	77.6%	-0.6
2	今の学部に入って良かった	76.9%	-1.8
3	基礎学力の不足を痛感する	75.3%	*
4	入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった	67.4%	7.5
5	日大のスポーツの活躍は誇りになる	67.0%	8.4
6	入学後、人間性が豊かになった	64.8%	3.5
7	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	63.8%	*
8	ボランティア活動を今後してみたい	60.3%	5.3
9	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	57.7%	-3.6
10	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	55.9%	*
11	ぼんやりと過ごす時間が多い	55.3%	-2.5
12	栄養のバランスに気がつかっている	53.9%	-2.0
13	日大が出るスポーツを見に行ってみたい	52.2%	*
14	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	51.9%	*
15	大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている	50.7%	*
16	日大が出るスポーツの 情報を提供して欲しい	50.1%	0.5
17	勉強のためにゆとりの時間が持てない	49.8%	4.8
18	自分の学部に誇りを持っている	49.2%	2.6
19	東京の大学に入学したかった	49.0%	6.2
20	入学時に卒業後の進路・就職を意識	48.7%	8.1

*は平成9年度に無かった項目

経済学部

入学から現在までの意識・行動に関して、経済学部では「日大に入って良かった」「基礎学力の不足を痛感する」「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」という学生が3分の2以上で上位を占めています。14学部の中で「東京の大学に入学したかった」が63.4%と最も高いといった特徴が見られます。日本経済の中心地で経済動向を肌で感じながら学びたいと思った学生が多いと考えられます。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲が持てるようになった」が26.4ポイント増で14学部中最大の増加幅、「入学直後と比べると日大の良さを認めるようになった」も25.4ポイントの大幅な増加となっています。大学側の勉学に対する取組みの効果が顕著に表われているようです。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	日大に入って良かった	67.1%	-1.8
2	基礎学力の不足を痛感する	67.1%	*
3	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	66.8%	7.1
4	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	65.8%	*
5	入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった	64.7%	25.4
6	今の学部に入って良かった	63.4%	10.3
7	東京の大学に入学したかった	63.4%	12.4
8	日大のスポーツの活躍は誇りになる	61.3%	7.7
9	ぼんやりと過ごす時間が多い	59.9%	-1.3
10	入学後、人間性が豊かになった	58.2%	5.1
11	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	56.2%	*
12	日大が出るスポーツを見に行ってみたい	54.1%	*
13	ボランティア活動を今後してみたい	53.8%	1.8
14	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	53.1%	*
15	栄養のバランスに気がつかっている	52.7%	4.7
16	大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている	52.4%	*
17	勉学のためにゆとりの時間が持てない	50.3%	11.5
18	日大が出るスポーツの 情報を提供して欲しい	50.0%	6.6
19	自分の学部の学部長名を知っている	49.3%	-2.2
20	入学後、勉学意欲がもてるようになった	48.3%	26.4

*は平成9年度に無かった項目

商学部

入学から現在までの意識や行動について、商学部では「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」が72.9%と最も高く、「学内での盗難や器物破損の危険性を感じる」も8位(60.8%)と学内での危険性に対する危惧が強くなっています。大学側も以前からこの点を認識し、平成21年に新教室棟完成予定となっています。「日大に入って良かった」が71.7%、「今の学部に入って良かった」が66.7%と2～3位に続いており、入学について約7割の学生は肯定的です。一方で「日大より高い水準の大学へ入学したかった」も50.8%と法学部に次いで2番目に高く、入学直後は複雑な心境の学生が多かったものと思われます。

平成9年度と比較して、「入学時に卒業後の進路・就職を意識」「勉学のためのゆとりが持てない」「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が約11ポイント増加し、将来を見据えて真剣に勉学に取り組む学生が増加する傾向が浮き彫りになっています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる	72.9%	*
2	日大に入って良かった	71.7%	-1.5
3	今の学部に入って良かった	66.7%	-5.9
4	入学直後に比べると日大の良さ認めるようになった	65.0%	7.4
5	日大のスポーツの活躍は誇りになる	64.2%	6.4
6	基礎学力の不足を痛感する	62.5%	*
7	できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	62.1%	3.9
8	学内での盗難や器物破損の危険性を感じる	60.8%	*
9	入学後、人間性が豊かになった	57.9%	-3.8
10	ぼんやりと過ごす時間が多い	55.8%	0.3
11	栄養のバランスに気がつかっている	54.2%	8.0
12	東京の大学に入学したかった	53.8%	3.3
13	入学時に卒業後の進路・就職を意識	52.9%	10.9
14	日大が出るスポーツを見に行きたい	51.3%	*
15	勉学のためにゆとりの時間が持てない	51.3%	10.8
16	日大より高い水準の大学へ入学したかった	50.8%	5.7
17	ボランティア活動を今後してみたい	50.4%	-1.8
18	入学後、勉学意欲がもてるようになった	48.3%	10.5
19	大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている	48.3%	*
20	今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている	47.9%	5.7

*は平成9年度に無かった項目

芸術学部

入学から現在までの意識や行動について、芸術学部では「今の学部に入って良かった」が86.8%と14学部中で2番目に高くなっています。次いで「日大に入って良かった」が73.1%と高く、入学時の学生の学部や大学に対する満足率は高いことがわかります。3位の「入学後、人間性が豊かになった」や5位の「よい影響を受ける教職員に出会えた」、6位の「入学後、創造性が養われた」などの項目は14学部中最高であり、入学後の評価が高い点が顕著となっています。

平成9年度と比較して、「日大は自分の才能を伸ばしてくれると思う」が12.5ポイントの増加、「自分の学部に誇りを持っている」が14学部中2位の68.6%であることから、日大や学部に対する帰属意識が強く、その傾向も高まっていることがうかがえます。「8つのアート 1つのハート」のキャッチフレーズの下に8学科に集まりあう感性を相互に交わせ、真のクリエイターとしての才能を伸ばそうとする学部の教育方針の成果が表われていると言えるでしょう。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	今の学部に入って良かった	86.8%	0.6
2	日大に入って良かった	73.1%	5.0
3	入学後、人間性が豊かになった	69.8%	6.5
4	自分の学部に誇りを持っている	68.6%	3.7
5	よい影響を受ける教職員に出会えた	67.1%	4.3
6	入学後、創造性が養われた	66.8%	5.1
7	入学時に卒業後の進路・就職を意識	63.8%	2.1
8	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	63.5%	*
9	基礎学力の不足を痛感する	62.6%	*
10	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	59.0%	2.1
11	今、はっきりとした 目標をもって勉強している	57.8%	5.1
12	栄養のバランスに気がつかっている	55.7%	6.2
13	入学後、勉強意欲がもてるようになった	55.1%	4.6
14	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じる	53.0%	*
15	今、将来の職業を どうしたいかがはっきりしている	50.9%	2.0
16	ボランティア活動を今後してみたい	50.0%	1.1
17	日大は自分の才能伸ばしてくれると思う	47.6%	12.5
18	ぼんやりと過ごす時間が多い	47.3%	2.6
19	勉強のためにゆとりの時間が持てない	47.0%	9.8
20	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	46.7%	*

*は平成9年度に無かった項目

国際関係学部

入学から現在までの意識や行動について、国際関係学部では「基礎学力の不足を痛感する」(75.8%)「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」(70.4%)が7割以上で共に高くなっています。「必要な基礎学力の補習を実施して欲しい」は63.2%と6位ですが、14学部中最大で、多くの学生が基礎学力に不安を覚えながら勉学に励んでいる様子がうかがえます。「今の学部に入って良かった」「日大に入って良かった」は共に60%を超えているものの他の学部と比べると低く、平成9年度より5ポイント前後の減少となっており、日大や学部に対しての入学時の満足度は相対的に低いと言えます。

しかし「日大出身者は社会に出てから有利だと思う」の項目では53.8%で平成9年度より18ポイントと大幅増加と、比率・増加ポイントとも14学部中トップとなっており、国際交流学科・国際ビジネス科増設(平成11年)など国際社会に向けた特色ある教育が学生の評価を高めているものと考えられます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	基礎学力の不足を痛感する	75.8%	*
2	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	70.4%	2.1
3	今の学部に入って良かった	64.5%	-4.9
4	日大に入って良かった	63.4%	-5.6
5	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	63.4%	*
6	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	63.2%	*
7	日大のスポーツの活躍は誇りになる	61.8%	14.4
8	入学後、人間性が豊かになった	60.8%	1.5
9	ぼんやりと過ごす時間が多い	58.9%	2.9
10	ボランティア活動を今後してみたい	58.6%	-3.3
11	栄養のバランスに気がつかっている	58.1%	1.4
12	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	56.2%	4.7
13	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	56.2%	*
14	日大が出るスポーツを見に行ってみたい	54.8%	*
15	日大出身者は社会に 出てから有利だと思う	53.8%	18.0
16	勉学のためにゆとりの時間が持てない	53.8%	10.9
17	日大が出る スポーツの情報を提供して欲しい	53.2%	11.4
18	良い影響を受ける教職員に出会えた	51.6%	3.1
19	入学後、勉学意欲がもてるようになった	50.0%	11.9
20	入学時に卒業後の進路・就職を意識	49.5%	4.7

*は平成9年度に無かった項目

理工学部

入学から現在までの意識や行動について、理工学部では「基礎学力の不足を痛感する」が74.1%で最高、「今の学部に入って良かった」「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」が続いています。「勉学のためにゆとりの時間が持てない」が59.9%で5位にランクされています。平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が16.4ポイント増と勉学に意欲的に取り組む学生が増加しており、『1年生前期の新入生教育の重視』『少人数制の行き届いた教育』の成果が表われているようです。

しかし一方で、「日大に入って良かった」「今の学部に入って良かった」「学部に誇りを持っている」などの項目で6～9ポイント減少しており、大学と学部に対する帰属意識がやや低下しているように感じられます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	基礎学力の不足を痛感する	74.1%	*
2	今の学部に入って良かった	68.2%	-5.5
3	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	65.7%	2.5
4	日大に入って良かった	63.9%	-6.9
5	勉学のためにゆとりの時間が持てない	59.9%	0.6
6	ぼんやりと過ごす時間が多い	55.9%	-4.2
7	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	55.8%	6.6
8	自分の学部出身者は社会に有利	53.5%	-1.8
9	入学時に卒業後の進路・就職を意識	52.1%	6.5
10	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	50.3%	*
11	日大のスポーツの活躍は誇りになる	50.3%	6.5
12	入学後、人間性が豊かになった	50.2%	-6.3
13	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	50.0%	*
14	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	49.8%	*
15	栄養のバランスに気がつかっている	49.5%	6.0
16	入学後、勉学意欲がもてるようになった	49.0%	16.4
17	自分の学部に誇りを持っている	46.2%	-8.6
18	良い影響を受ける教職員に出会えた	45.8%	3.4
19	ボランティア活動を今後してみたい	45.7%	-2.6
20	自分の学部は今後 益々世間で評価されると思う	45.0%	-1.8

*は平成9年度に無かった項目

生産工学部

入学から現在までの意識や行動について、生産工学部では「基礎学力の不足を痛感する」が75.0%でトップ、「必要な基礎学力の補習を実施して欲しい」も58.5%で高くなっています。「勉学のためにゆとりの時間が持てない」学生が65.1%と14学部中最高となっており、基礎学力不足に悩みながら勉学に追われる学生の姿が浮かび上がってくるようです。

4位の「今の学部に入って良かった」は14学部中最低、14位の「他学部、他学科に本当は入りたかった」は47.9%で14学部中2番目に高くなっており、入学時の意識は相対的に見て低いようですが、平成9年度と比較すると「入学後、勉学意欲が持てるようになった」「良い影響を受ける教職員に出会えた」「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」の項目で10ポイント以上増加しており、入学後の意識は高まる傾向が見られます。『基礎重視型教育への転換』『コース制導入による個性化教育』の成果が表われていると言えるかもしれません。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

順位	意識・行動	割合	増減(ポイント)
1	基礎学力の不足を痛感する	75.0%	*
2	日大に入って良かった	67.3%	-2.1
3	勉学のためにゆとりの時間が持てない	65.1%	6.6
4	今の学部に入って良かった	60.5%	1.2
5	入学後、人間性が豊かになった	59.8%	0.7
6	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	59.7%	5.0
7	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	59.5%	*
8	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	58.5%	*
9	入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった	57.9%	10.3
10	ぼんやりと過ごす時間が多い	56.9%	-1.8
11	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	54.9%	*
12	日大出身者は 社会に出てから有利だと思う	53.2%	2.7
13	入学後、勉学意欲がもてるようになった	49.3%	19.7
14	他学部、他学科に本当は入りたかった	47.9%	-5.6
15	ボランティア活動を今後してみたい	47.8%	4.4
16	良い影響を受ける教職員に出会えた	47.4%	14.7
17	栄養のバランスに気がつかっている	47.4%	3.2
18	日大のスポーツの活躍は誇りになる	46.4%	-1.4
19	入学後、創造性が養われた	45.5%	7.1
20	朝食を食べないことが多い	44.6%	-1.9

*は平成9年度に無かった項目

工学部

入学から現在の意識や行動について、工学部では「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」積極な勉学意識を抱いて入学した学生が75.2%と最も高く、14学部中でもトップです。一方で入学後「基礎学力の不足を痛感する」が73.3%と高く、「ぼんやりと過ごす時間が多い」が14学部中トップ、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」は14学部中最下位となっており、入学後に勉学に対する意欲がやや低下する傾向が見られます。

また、キャンパスの立地や男子学生比率が94%と高いこともあってか、「夕食は一人で」「朝食は食べない」は14学部中1位、「栄養バランスを考えている」は最下位となっており、食生活面が心配な学生が多いように思われます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	75.2%	4.6
2	基礎学力の不足を痛感する	73.3%	*
3	日大に入って良かった	67.1%	-1.0
4	今の学部に入って良かった	64.2%	5.8
5	ぼんやりと過ごす時間が多い	61.2%	-0.4
6	勉学のためにゆとりの時間が持てない	61.2%	3.4
7	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	59.3%	*
8	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	58.0%	4.2
9	学内での盗難や 器物破損の危険性を感ずる	55.7%	*
10	自分の学部の ホームページをよく見ている	54.7%	*
11	夕食は普段は一人で食べている	53.7%	0.3
12	入学後、人間性が豊かになった	51.5%	-5.7
13	自分の学部出身者は社会に有利	51.5%	9.9
14	日大出身者は 社会に出てから有利だと思う	47.9%	-4.3
15	入学後、勉学意欲がもてるようになった	47.6%	12.0
16	栄養のバランスに気がつかっている	47.2%	1.6
17	入学時に卒業後の進路・就職を意識	45.9%	0.3
18	朝食を食べないことが多い	45.3%	-16.6
19	大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている	45.3%	*
20	日大のスポーツの活躍は誇りになる	43.6%	-5.5

*は平成9年度に無かった項目

医学部

学生の意識・行動を見ると、医学部では「今の学部に入って良かった」が84.5%でトップ、14学部中4番目に高くなっています。2位が「入学時に卒業後の進路・就職を意識」(81.2%)、5位が「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」(76.3%)、6位が「今、はっきりとした目標をもって勉学している」(72.9%)、で高くなっており、進路や職業がはっきりしていることから、職業を意識し目標を持った勉学に励んでいる様子が浮き彫りになっています。「自分の学部に誇りをもっている」学生比率も72.5%で14学部中トップと、学部帰属意識が高くなっています。「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」学生も79.2%となっており、校舎の老朽化を危惧する声も強いようです。平成9年度と比較し「勉学のためにゆとりの時間が持てない」「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が14ポイント増となっており、カリキュラム改正によるチュートリアル教育実施の結果が反映されているようです。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	今の学部に入って良かった	84.5%	-2.7
2	入学時に卒業後の進路・就職を意識	81.2%	2.8
3	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	79.2%	*
4	自分の学部の学部長名を知っている	77.8%	-19.8
5	今、将来の職業を どうしたいかがはっきりしている	76.3%	-0.5
6	今、はっきりとした 目標をもって勉学している	72.9%	9.7
7	自分の学部に誇りを持っている	72.5%	-11.5
8	日大に入って良かった	70.0%	-3.6
9	基礎学力の不足を痛感する	69.6%	*
10	自分の学部出身者は社会に有利	69.6%	0.0
11	勉学のためにゆとりの時間が持てない	67.1%	14.3
12	日大のスポーツの活躍は誇りになる	61.8%	-1.4
13	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	60.9%	*
14	栄養のバランスに気がつかっている	59.9%	7.1
15	健康のために定期的な運動をしている	59.4%	1.8
16	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	58.5%	1.7
17	自分の学部は今後 益々世間で評価されると思う	58.0%	-9.2
18	入学後、勉学意欲がもてるようになった	57.5%	13.5
19	入学後、人間性が豊かになった	57.0%	-5.4
20	学祖名(山田顕義先生)を知っている	56.5%	20.5

*は平成9年度に無かった項目

歯学部

入学から現在までの意識や行動について、歯学部では「入学時に卒業後の進路・就職を意識」が80.6%と最も高く、3位の「今はっきりとした目標を持って勉学している」は14学部中最も高く、医学部同様 職業を意識し目標を持った勉学に励んでいる様子が浮き彫りになっています。歯学部では「栄養バランスに気がつかっている」「健康のために定期的に運動している」学生の比率が他学部に比べ高い反面、飲酒(週3日以上)や喫煙率は14学部中最高で3~4人に一人の比率となっており、健康面で心配される学生も多いようです。「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」が78.2%と高く、校舎の老朽化を危惧する声も強いようです。平成9年度との比較では、「入学後勉学意欲がもてるようになった」「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」などで大幅な増加が見られて、カリキュラム改正によるチュートリアル教育の成果が顕著に表われているように思われます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	入学時に卒業後の進路・就職を意識	80.6%	-0.6
2	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	78.2%	*
3	今、はっきりとした 目標をもって勉学している	74.3%	16.6
4	自分の学部の学部長名を知っている	73.3%	-2.3
5	今の学部に入って良かった	72.8%	9.9
6	基礎学力の不足を痛感する	70.9%	*
7	今、将来の職業を どうしたいかがはっきりしている	70.4%	-4.2
8	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	69.9%	*
9	日大に入って良かった	64.6%	6.4
10	勉学のためにゆとりの時間が持てない	64.1%	-4.9
11	自分の学部出身者は社会に有利	63.6%	-4.5
12	自分の学部に誇りを持っている	62.6%	9.5
13	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	60.7%	18.0
14	入学後、人間性が豊かになった	59.2%	15.1
15	栄養のバランスに気がつかっている	59.2%	9.4
16	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	57.8%	21.2
17	入学後、勉学意欲がもてるようになった	57.3%	24.4
18	良い影響を受ける教職員に出会えた	57.3%	19.7
19	健康のために定期的な運動をしている	56.3%	7.9
20	ボランティア活動を今後してみたい	53.9%	1.8

*は平成9年度に無かった項目

松戸歯学部

入学から現在までの意識や行動について、松戸歯学部では「自分の学部の学部長名を知っている」が81.9%でトップ、14学部中最も高くなっています。次いで「入学時に卒業後の進路・就職を意識」(81.1%)「将来の職業がはっきりしている」(76.3%)「はっきりとした目標を持って勉学している」(69.9%)が続いており、医学部・歯学部同様 職業を意識し目標を持った勉学に励んでいる様子が浮き彫りになっています。ただし、他の学部と比べると「日大に入って良かった」は61.4%で14学部中最も低く、「今の学部に入って良かった」も65.1%と比較的低いことから、入学直後は大学や学部の選択に満足していた学生の比率は相対的に低いようです。

しかし、平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が13.6ポイント増、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」も6.8ポイント増となっており、入学後の勉学意欲や日大評価は高まる傾向が見られます。一方で、「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」は7.8ポイント減、「ぼんやりと過ごす時間が多い」が11.7ポイント増となっていることから、将来の職業への迷いがある学生が増えているのかもしれない。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度 からの増減 (ポイント)	
1	自分の学部の学部長名を知っている	81.9%	-0.5
2	入学時に卒業後の進路・就職を意識	81.1%	-3.5
3	今、将来の職業を どうしたいかがはっきりしている	76.3%	-7.8
4	今、はっきりとした 目標をもって勉学している	69.9%	-1.0
5	基礎学力の不足を痛感する	69.1%	*
6	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず	67.5%	*
7	今の学部に入って良かった	65.1%	3.9
8	勉学のためにゆとりの時間が持てない	65.1%	-2.7
9	日大に入って良かった	61.4%	1.5
10	入学後、人間性が豊かになった	60.6%	4.2
11	自分の学部出身者は社会に有利	59.8%	5.6
12	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	59.8%	5.2
13	入学後、勉学意欲がもてるようになった	59.0%	13.6
14	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	57.4%	*
15	健康のために定期的な運動をしている	55.8%	-2.8
16	自分の学部に誇りを持っている	53.8%	4.0
17	入学直後に比べると 日大の良さ認めるようになった	52.6%	6.8
18	ぼんやりと過ごす時間が多い	52.2%	11.7
19	入学後、将来の 希望が持てるようになった	51.8%	-5.5
20	日大のスポーツの活躍は誇りになる	51.8%	-0.6

生物資源科学部

入学から現在までの意識や行動について、生物資源科学部では「今の学部に入って良かった」が82.1%でトップ、3位に「日大に入って良かった」（81.6%で14学部中最高）と共に高く、学生の大半が入学直後大学・学部に関して満足していたことがわかります。2位の「基礎学力の不足を痛感する」は81.6%と14学部中最高で、「必要な基礎学力の補習を実施して欲しい」も62.2%と高くなっています。

平成9年度と比較すると、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」（15.9ポイント増）「入学後、勉学意欲がもてるようになった」（12.9ポイント増）「良い影響を受ける教員に出会えた」（9.6ポイント増）「今の学部に入って良かった」（8.8ポイント増）で増加傾向が強く、入学直後の満足度に加え、現在の大学・学部に対する満足度や勉学意欲も高まる傾向が顕著に見られます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	今の学部に入って良かった	82.1%	8.8
2	基礎学力の不足を痛感する	81.6%	*
3	日大に入って良かった	78.5%	7.2
4	入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった	66.0%	15.9
5	入学後、人間性が豊かになった	63.9%	4.4
6	ボランティア活動を今後してみたい	63.0%	3.4
7	できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った	63.0%	3.9
8	必要な基礎学力の補習を実施して欲しい	62.2%	*
9	日大のスポーツの活躍は誇りになる	59.4%	8.4
10	自分の学部は今後益々世間で評価されると思う	58.3%	5.9
11	校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる	57.1%	*
12	自分の学部に誇りを持っている	55.2%	4.2
13	栄養のバランスに気がつかっている	53.1%	0.7
14	入学時に卒業後の進路・就職を意識	51.4%	2.6
15	ぼんやりと過ごす時間が多い	51.0%	-4.9
16	入学後、勉学意欲がもてるようになった	50.2%	12.9
17	良い影響を受ける教職員に出会えた	50.0%	9.6
18	学内での盗難や器物破損の危険性を感じる	49.8%	*
19	日大が出るスポーツを見に行ってみたい	47.4%	*
20	勉学のためにゆとりの時間が持てない	47.4%	4.2

薬学部

入学から現在までの意識や行動について、薬学部では14学部中最も高い87.3%の学生が「今の学部に入って良かった」と回答しています。2位の「基礎学力の不足を痛感する」(78.2%)、3位の「入学時に卒業後の進路・就職を意識」(75.1%)は、他学部と比較しても高くなっています。4位の「自分の学部出身者は社会に有利」や9位の「自分の学部は今後益々世間で評価される」といった項目でも14学部で最も高い数値となっており、“日大の薬学部”を高く評価しているという特徴が見られます。しかし、21位以下を見ると「日大生の誇りを持っている」(27.5%)、「日大は今後評価される」(25.3%)、「自分の子供・身内も将来は日大で学んでもらいたい」(8.3%)は14学部中最低となっており、日大そのものに対する評価は厳しいようです。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲が持てるようになった」が13.9ポイント増加し、勉学意欲の上昇傾向が見られます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

		平成9年度からの増減 (ポイント)	
1	今の学部に入って良かった	87.3%	3.9
2	基礎学力の不足を痛感する	78.2%	*
3	入学時に卒業後の進路・就職を意識	75.1%	8.2
4	自分の学部出身者は社会に有利	72.5%	0.1
5	できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った	71.2%	2.7
6	日大に入って良かった	68.1%	0.7
7	自分の学部に誇りを持っている	66.4%	-3.2
8	今、はっきりとした 目標をもって勉学している	65.9%	4.0
9	自分の学部は今後 益々世間で評価されると思う	65.5%	3.6
10	自分の学部の学部長名を知っている	65.1%	-6.7
11	校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる	63.8%	*
12	勉学のためにゆとりの時間が持てない	62.4%	1.6
13	学内での盗難や 器物破損の危険性を感じる	60.3%	*
14	入学後、勉学意欲がもてるようになった	58.1%	13.9
15	必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい	58.1%	*
16	大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている	58.1%	*
17	今、将来の職業を どうしたいかがはっきりしている	56.8%	-3.4
18	日大のスポーツの活躍は誇りになる	56.8%	9.3
19	入学後、人間性が豊かになった	55.5%	4.7
20	栄養のバランスに気がつかっている	53.3%	3.0

*は平成9年度に無かった項目